※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書	「文学国語」（数研出版）						
副教材等	「常用漢字ダブルクリア」（尚文出版） 「評論　速読トレーニング　１５００」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業の予習として、わからない語句を辞書で調べ語彙力を高めてください。授業では、説明を良く聞き、ノートはただ写すだけではなく、復習する時にわかりやすいように工夫しましょう。授業内容が理解できたかどうかは、定期テストだけではなく、日頃の発言や提出物、ノートの記述などを総合して判断します。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2)　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後	小説の読み方を習得する。 ［教材］ 山月記　中島敦	a:「山月記」における文体の特徴や修辞などのさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 b[書]:翻案を書くために、選んだ題材に応じて有効な情報を適切に収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c:本教材から学習したことやその他の作品を踏まえ、効果的に言葉を用いながら、工夫を凝らした翻案を創作しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ［教材］ 永訣の朝　宮沢賢治	a:心情の豊かさや機微を表す語句の量を増すことができている。 b[読]:作者の経歴と作品の成立背景を調べ、「石垣りん／それでよい。」と言い切る作者の心情をおおむね理解し、作品の解釈を深めることができている。 c:主体性をもって粘り強く根拠立てて心情説明に取り組んでいる。			
	現代小説に触れることを通して、読書の意義と効用について理解する。 ［教材］ 鍋セット　角田光代	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]:作品の内容や解釈を踏まえ、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを十分に吟味しスピーチ原稿の文章を整えている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿ってスピーチをしようとしている。			
	昭和初期の小説に触れることを通して、読書の意義と効用についての理解を深める。 ［教材］ 山椒魚　井伏鱒二	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:考えを整理して山椒魚の考え方や行動に対する感想を述べている。			
	まとまった分量のある小説を読み、場面の展開や登場人物の心理の変化を捉える力を養う。 ［教材］ こころ　夏目漱石	a:作品に共感したり、疑問をいだいたりすることを通して、読書の意義と効用についての理解を十分に深めることができている。 b[読]:主題を考察する作業を通して、作品内容を解釈することができている。 c:本文の内容を踏まえて疑問に思ったことなどについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　７　）時間

・読むこと　…　（　２８　）時間